

第3章 施策と具体的な取り組み

将来像を実現するための施策として、4つの基本方針に基づき、以下の施策に取り組みます。

1 地域資源の連携による魅力づくり

施策① 平和祈念・平和学習を深める

平和祈念公園やひめゆりの塔などへの平和祈念・平和学習の来訪が減少傾向にあり、戦争の語り部も高齢化により減少しています。また、壕（ガマ）の見学についても課題を有します。沖縄戦からその先の復興へと対象を広げること、それに伴い語り部の育成等を進めることなど、これまでの平和祈念・平和学習の場としての役割を踏まえ、新しい平和祈念・平和学習の場の再構築に取り組みます。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○沖縄戦およびその後の復興を伝える、新しい平和祈念・平和学習の場としての再構築	あり方検討	再構築		◎	○		◎	平和祈念ゾーン、MICEゾーンを中心に展開
○平和学習と歴史・生活文化の組み合わせによる体験プログラムの構築	組み合わせ検討	プログラム構築・事業化		◎	◎		○	
○戦跡の保全・安全性の確保と外構の整備、活用のための仕組み構築	活用の仕組み再整理	仕組み構築		◎			○	
○沖縄戦語り部の継承と戦後復興語り部の育成	語り部育成			◎	○		◎	
○文化・平和・観光振興センターを活用した平和学習	活用検討	活用		◎	○		○	MICEゾーンでの展開

※施策内容の見方

具体的な取組	施策推進にあたっての具体的な内容を示します。
ロードマップ	具体的な取組を推進するにあたり、計画期間10年を3期に分けたより具体的な取り組み内容を示します。 ※短期：平成28年～30年、中期：平成31年～33年、長期：平成34年～37年
実施主体	◎：主体者取組を主催、主導的に推進する主体のことを示します。 ○：取組への参画者、協力者となる主体のことを示します。 ※実施主体の内訳 行政：糸満市・教育委員会 関連団体：観光協会・商工会・漁協・農協など 事業者：宿泊・観光施設・運輸・物販・飲食などの民間事業者 市民：区長会、公民館、地域団体、NPO等の市民団体や市民
展開するゾーン	前掲のゾーニングとの対応を示します。

施策② 歴史・生活文化の活用や自然環境の保全活用

戦跡国定公園として保全されてきた豊かな自然環境や特色ある歴史・生活文化資源の保全と発信が課題です。自然環境保全プログラムや生活空間にある文化的資源、南山時代等の歴史遺産や海人文化などを地域独自の魅力として体験・活用できる仕組みの構築を図ります。

【歴史・生活文化の活用】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○地域とともに推進する、生活空間にあるカー（湧泉）やウタキ（御嶽）、拝所等の保全とパワースポットとしての調査・活用	調査・プログラム検討	プログラム構築・事業化		○	◎		○	歴史・自然体験ゾーンでの展開
○グスク等の歴史遺産の保全活用、沖縄の成り立ちを考える歴史体験プログラムの構築	調査・発信・プログラム検討	プログラム構築・事業化		◎	◎		○	歴史・自然体験ゾーンでの展開
○海人文化の保全・継承と観光活用の強化	発信・プログラム検討	プログラム構築・事業化		○	◎	○	◎	海人文化観光ゾーンでの展開
○南山城跡周辺の遺構調査の拡充と世界遺産登録の推進	調査・発信			◎			○	歴史・自然体験ゾーンでの展開
○沖縄方言の伝承と観光への活用検討	調査	活用方策の整理・推進		○	◎		◎	市全域での展開
○文化・平和・観光振興センターを活用した地域の歴史や生活文化	活用検討	活用		◎	○		○	MICE ゾーンでの展開

【自然環境の保全活用】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○戦跡国定公園として保全されてきた豊かな自然環境（海域・海岸域・森林域）の魅力の発信と、それを活かす自然環境保全活動のプログラム化	発信・プログラム検討	プログラム推進		◎	◎		○	歴史・自然体験ゾーンでの展開



施策③ 食の魅力づくり

県内有数の農水産物の生産を誇る本市のポテンシャルが、来訪者には十分に伝わっていないのが現状ですが、糸満の食の魅力を向上させることで、観光客に対しての訴求力を高めると考えます。漁業・水産業や農林業と飲食・小売業との連携強化による食メニューの開発、地域食文化の観光活用や市内飲食店の魅力向上と情報発信を推進します。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○漁業・水産業と飲食・小売業等の連携強化による糸満魚食の構築による多様な水産物の観光活用の推進	関係者の意識共有	糸満魚食拠点の整備		○	◎	◎		市全域での展開
○漁業・水産業と農林業、飲食・小売業、地域住民等の連携強化による地域の食文化の活用（食メニューの開発や発信）	関係者での意識共有の駅等でのインパクトある発信	地域内消費流通の推進	各地域での食文化発信・料理提供仕組み構築	○	◎	◎	○	
○市内飲食店の魅力向上と情報発信	関係者での意識共有		市内外飲食店や小売店での糸満の食発信	○	◎	◎		

施策④ 宿泊滞在型観光の展開

宿泊客の増加と宿泊滞在による観光収入の拡大が課題です。宿泊滞在型観光の展開に向けて、宿泊施設の魅力向上や民泊の推進、新たな宿泊施設誘致等に取り組みます。また、民泊についても現在の受け入れを拡大・推進していくことに取り組みます。

【宿泊滞在型プログラムの推進】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○観光事業所の連携による滞在型プログラムの推進	滞在型プログラム構築			○	◎	◎	○	市全域での展開
○糸満市文化・平和・観光振興センターの整備推進	整備推進	活用		◎	○			
○外国人を対象とした医療ツーリズムの検討	検討			◎	◎	○		

【宿泊施設の魅力向上・施設誘致、民泊の推進】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○宿泊施設の魅力向上と新たな施設の誘致	宿泊施設誘致	宿泊施設魅力向上の検討・推進	品質認証の実施・施設改修支援策の検討	○	○	◎		市全域での展開
○民泊の拡大・推進（受け入れ家庭の拡大、古民家の活用等）	受け入れ家庭の拡大推進		古民家の活用検討	◎	◎		◎	

2 地域産業の連携による産業振興

施策⑤ 魅せる農・林・水産業の展開

本市の農・林・水産業と観光との連携により、農業や漁業のブランド価値を高めることが期待できます。漁業・水産業の体験、漁港や市場等の風景を活用した新たな過ごし方の提案、農林業分野においては観光農園の活用と農業者による体験、農林漁業者の民泊受け入れ促進など、魅せる農・林・水産業の展開を図ります。

【魅せる水産業の展開】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○漁業者等との連携による体験漁業や地魚の活用促進	活用検討・プログラム構築	プログラム事業化	プログラムの充実	○	◎	○		海人文化観光ゾーンを中心に展開
○漁港や公設市場等漁業の風景の活用による新たな過ごし方提案	活用検討・プログラム構築	プログラム事業化	プログラムの充実	◎	◎	○		
○卸売市場移転計画に伴い整備が予定される各種水産施設の観光利用の検討	活用検討	プログラム構築	プログラム事業化	○	◎	○		

【魅せる農林業の展開】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○糸満市観光農園の整備・誘客強化	活用検討・プログラム構築	プログラム事業化	プログラムの充実	◎		○		農地観光ゾーン、体験観光施設ゾーンを中心に展開
○農業者等との連携による農林業体験や農林産物の観光活用の推進	活用検討	プログラム構築	プログラム事業化	○	○	◎		
○電照菊・サトウキビ畑など農の風景や、地下ダムなど特徴的な施設の観光活用の推進	活用検討・プログラム構築	プログラム事業化	プログラムの充実	○	◎			

【魅せる農・林・水産業を支える仕組み構築】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○農・林・水産業を魅せるための民泊受け入れ拡大と、受け入れ家庭でのプログラム充実	活用検討・プログラム構築	プログラム事業化	プログラムの充実	◎	◎		◎	市全域での展開
○文化・平和・観光振興センターを活用した市内農林水産業の観光活用の推進	整備推進	活用		◎	○			MICEゾーンでの展開

施策⑥ 魅せる商・工業の展開

商・工業の分野においても、観光との連携の可能性を考えます。商業においては、飲食・物販事業者による商品・サービスづくりや公設市場の観光活用、工業の分野においては、製造体験等のプログラム構築が、観光の魅力を高めることが期待できます。

【魅せる商業の展開】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○飲食・物販事業者による糸満市ならではの商品・サービスの構築	既存商品・サービスのマーケティング	商品・サービスの再構築	商品・サービスの充実		○	◎		市全域での展開
○公設市場での朝市（対面での相対販売）の振興と観光客の受け入れ	受け入れ方策の検討	プログラム構築		◎	○	◎		海人文化観光ゾーンで展開

【魅せる工業の展開】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○工場見学や製造体験の推進、工芸品の販売・制作体験の強化（既存プログラムの強化と新たな見学・体験のプログラム化）	工場見学プログラム化	工場見学のプログラム充実		○	○	◎		工場見学ゾーン、体験観光施設ゾーンを中心に展開

【魅せる商・工業を支える仕組み構築】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○文化・平和・観光振興センターを活用した市内商工業の観光活用の推進	整備推進	活用		◎	○	○		MICEゾーンでの展開



施策⑦ 資源の組み合わせによる体験プログラムの魅力化

多数の資源やプログラムが連携し切れていない状況です。有機的な資源やプログラムのつながりにより、体験プログラムの魅力化、ストーリー性のあるプログラム構築を図ります。また、その検証・改善の仕組み構築を推進します。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○資源の組み合わせによる体験プログラムの構築 (漁業と農林業、平和学習と地域の歴史・生活文化、マリンレジャーと自然観察、地域の伝統行事と食文化などの組み合わせ、ストーリー性のあるプログラム構築)	体験プログラムの検討・構築	体験プログラムの充実		◎	◎	○		市全域での展開
○体験プログラム検証・改善の仕組み構築 (誘客のための魅力と運営を持続できる収益性を検証し、適切に改善する仕組みの構築)	プログラム検証	持続可能なプログラム・運用の仕組み構築		◎	◎	○		
○文化・平和・観光振興センターを活用した体験プログラムの構築	整備推進	活用		◎	◎	○		MICEゾーンでの展開



3 糸満市観光の新たな魅力づくり

施策⑧ マーケティングおよびプロモーション体制の構築

戦跡・平和観光の知名度が高いことを活かし、それだけではない糸満の発信が必要です。また、持続的な観光地域づくりに向けて、マーケティングを組織的に推進することが重要であることから、観光協会を中心としたマーケティング・プロモーションの体制の構築や、ウェブによる発信の強化など各種メディア・ツールの活用、糸満ファンの拡大に向けたコミュニティ構築を進めます。

【マーケティングの推進・体制構築】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○観光協会を中心とした、マーケティング調査実施・体制の充実	マーケティング調査実施と体制構築			○	◎			市全域での展開

【プロモーションの推進・体制構築】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○各種メディア・ツールを活用した多様な糸満観光の魅力の発信、南部広域での過ごし方の発信（特にウェブによる発信の強化推進、コンピューター技術によるAR（拡張現実）、VR（仮想現実）の観光ツールとしての活用等）	ツールの検討・発信	発信		◎	◎	◎	○	市全域での展開
○県外でのプロモーションの実施・関係者の連携による効果的な実施体制の構築	プロモーションの実施・戦略再構築	チャンネルの多様化	南部広域でのプロモーション連携	◎	○			
○インバウンド誘致に向けた海外でのプロモーション、外国人向けウェブサイトでの情報発信	プロモーションの実施			◎	◎	○		
○糸満ファンの拡大に向けた、ファンクラブ等新たなコミュニティ構築の推進	仕組み構築	コミュニティ構築推進		○	◎	○	○	



糸満市観光ナビのお知らせ



糸満市ではスマートフォン対応のARアプリ「糸満市観光ナビ」をご提供しています。アプリのダウンロード料金は無料（サービスにかかる通信料は利用者負担となります）ですので、是非皆さんダウンロードして糸満市観光のツールとしてお使いください。



施策⑨ 交通・情報インフラの充実と安全安心の提供

国道バイパスの開通が予定され、那覇方面からの交通利便性が向上する一方、渋滞や案内サインの整備が課題となります。また、情報インフラや観光客の安全対策についても充実していく必要があると考えます。観光交通・情報インフラの充実と観光客の安全対策の実施により、安全安心に楽しめる環境づくりを推進します。

【交通の充実】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○那覇市・那覇空港および周辺市町の観光拠点からの公共交通アクセスの向上	交通アクセス充実、市内交通網・手段の整備			◎	○			市全域での展開
○市内回遊性を高めるための公共交通（路線バスやデマンドバス等）の観光利用推進	利用推進			◎	○			
○レンタカー利用者の利便性向上、EV車の活用の仕組み検討	検討・推進			○	◎			
○市内各エリアでの案内サインや誘導サインの整備推進	サイン整備検討	サイン整備		◎	○			
○観光地の駐車場整備の推進	整備検討	整備		◎			○	
○移動を楽しめる道路空間の演出（美々ビーチ・道の駅・漁港・公設市場周辺での歩行空間、平和の道開通に伴う自動車・自転車・徒歩での移動を楽しめる道路空間）	演出の検討		道路空間演出・整備	◎	○	○		
○鉄軌道など新たな交通システムの検討	検討			◎			○	

【情報インフラの充実】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○公衆無線 LAN 環境の整備	環境整備			◎	○	◎		市全域での展開
○道の駅や主要観光施設における観光情報の拠点とハブの機能強化	情報拠点整備	機能強化		○	◎	○		
○文化・平和・観光振興センターによる市内各地への交通情報の提供と災害時の一時避難所であることの周知	周知			◎	◎			MICEゾーンでの展開

【防災の充実】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○観光危機管理計画の策定（観光危機管理体制の整備、平常時の減災対策、危機対応への準備、危機への対応、危機からの回避）	計画策定	計画に基づいた施策推進		◎			○	市全域での展開
○観光施設や体験プログラム実施、海や山・農地等での危険生物等に対する安全対策、事故時の医療機関との連携強化等の推進	対策の検討・推進			○	◎	◎	○	
○沖縄県消防指令センターの運用開始に伴う、外国人観光客の119番通報時の対応強化	対応強化			◎			○	
○沖縄県消防相互応援協定の見直しおよび近隣消防・関係機関との連携強化による集団災害事故（バス事故等）への迅速な対応	連携強化			◎			○	



施策⑩ スポーツツーリズム・MICE 観光等の推進

スポーツツーリズム、ヘルスツーリズムや MICE 観光など新たなスタイルの観光受け入れを推進します。スポーツ施設整備活用によるスポーツキャンプ受け入れや、エコスポーツ、マリンスポーツの振興、糸満市文化・平和・観光振興センター整備に伴い、大型ホテル等とも連携した中小規模の MICE の受け入れやアフターMICE の受け入れにも期待できる状況です。

【スポーツツーリズムの推進】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○スポーツ施設の整備活用（西崎運動公園の機能向上）によるスポーツキャンプ受け入れの推進（プロスポーツおよびアマチュアスポーツ）	スポーツキャンプ受け入れ推進			◎	○			スポーツ観光ゾーンを中心に展開
○エコスポーツやマリンスポーツの振興	実施検証と今後の可能性検討	エコスポーツ・マリンスポーツ振興推進		◎	○	◎		

【MICE 観光等の推進】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○糸満市文化・平和・観光振興センター等、市内各施設の活用による MICE の誘致	施設整備・誘致検討	中小規模 MICE の誘致		◎	○		○	MICE ゾーンを中心に展開
○市内での MICE および大型 MICE との連携によるアフター MICE の受け入れ	体制の構築	中小規模 MICE の誘致 アフター MICE 受け入れ		◎	○	○		
○ヘルスツーリズムや医療ツーリズム、産業観光、エンターテイメント観光、リゾートウェディングなど新たな展開の模索と推進	新たな展開検討		新たな顧客展開の推進	○		◎		市全域での展開
○新工ネ・省工ネの先進地としての視察観光等の受け入れ促進	受け入れ検討		新たな顧客展開の推進	◎	○			



施策⑪ 観光のユニバーサルデザイン化

外国人観光客の受け入れ、障がい者や高齢者などあらゆる方々を受け入れることができる観光のユニバーサルデザイン化を推進します。那覇空港や那覇市からの近接性は、障がい者や高齢者等行動に制約の可能性のある方々に対する訴求力を持ちます。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○外国人観光客に対応する多言語表示等対応の推進（案内板やパンフレットなど）、食事等の対応	対応充実（案内板・パンフレット）	対応充実（人材・表示灯）		◎		○		市全域での展開
○クレジットカードや電子マネーの利用環境の整備	環境整備検討	環境整備			○	◎		
○観光関連施設における外国人対応ができる人材の育成	人材の育成			○	○	◎		
○障がい者や高齢者、子ども連れ客の受け入れに対応した施設改修・受け入れ対応の充実	施設改修検討	施設改修推進		◎	○	○		

施策⑫ 南部広域市町との連携推進

南部広域観光協会の枠組みを活かした広域連携による観光誘客の推進を図ります。周辺市町との連携により相互補完関係を持つプログラムの構築が可能であり、対外的なプロモーションを実施するにあたって、広域で多様性のあるプログラム提案ができることは有効です。

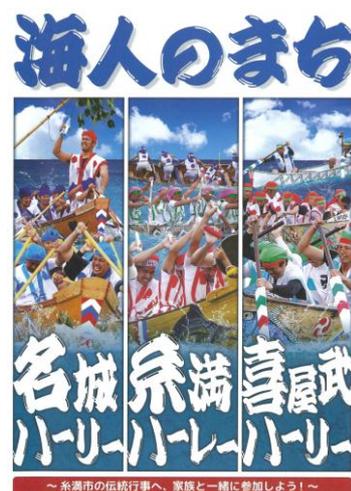
具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○南部広域観光協会の活用、各市町の受け入れ体制との連携（案内情報の共有と相互発信、教育旅行やスポーツキャンプ、MICE受け入れ等における連携協力）	情報共有・相互発信の推進			◎	○			市全域での展開
○南部広域市町との補完による観光プログラムの構築（周辺市町の資源と連携した南山等の歴史活用、平和学習、エコスポーツなど）	連携の検討	連携プログラム構築		◎	◎		○	
○文化・平和・観光振興センターを活用して南部広域市町の案内と情報発信、相互の連携を図る	検討	推進		◎	○			MICEゾーンでの展開

4 地域住民による資源価値の再認識

施策⑬ 各地域での観光まちづくり体制の構築

現在推進されている米須、大里地区での観光まちづくりの取組を市内全域で展開することや、各地域での伝統行事やイベントなどを観光資源として活用することを目指して体制構築等に努めます。旧暦文化が色濃く残る地域としての独自性が、コアな層に訴求する可能性を有していることから、住民が楽しめる施策の展開により持続性を高め、来訪者にとっても魅力が高まることが重要であると考えます。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○各地域での観光まちづくりの推進・各地域での体制づくり (米須村丸ごと生活博物館の取組、大里での取組充実、市内各地域での展開)	先進2地区 (米須、大里)の取組充実	周辺地区への波及 (糸満、兼城、高嶺、三和)	市内全域での取組推進	○	○		◎	市全域での展開
○旧暦文化に基づく地域の伝統行事 (糸満ハーレー、糸満大綱引など)への誘客、観光資源としての活用推進	誘客推進、活用の検討	誘客・活用の推進		◎	◎		◎	
○市民参加型によるイベントの充実 (「糸満ふるさと祭り」、「平和の光いとまんピースフルイルミネーション」など)	誘客推進、活用の検討	誘客・活用の推進		◎	◎	○	◎	
○文化・平和・観光振興センターを活用した市民参加型の観光まちづくり体制構築	体制検討	体制構築		◎	○		○	MICEゾーンでの展開



施策④ 観光人材の育成

糸満観光の魅力向上、持続的な観光地域づくりに向けて、観光人材の育成に努めます。豊富で多様な資源があること、市民の糸満市の資源・文化に対しての思いがあることを背景に多くの市民の参画を期待します。

【市民の理解醸成と市民参画の推進】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○市民による観光受け入れの理解醸成を図るための、地域の歴史や食文化、自然環境等を学び考える講座の実施	講座開催			◎	○		◎	市全域での展開
○地域住民の知識や経験、芸能・技能を活用する仕組みの構築	仕組み検討	仕組み構築		◎	○		○	
○小中学校と連携した、外国人観光客との交流プログラムの構築検討	検討	プログラム構築		◎	◎		○	
○文化・平和・観光振興センターを活用した観光人材の確保と育成の支援	検討	人材確保・育成		◎	◎		○	

【観光推進体制の構築と人材育成】

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○観光関連事業で活躍する人材の確保・育成の支援	人材の確保・育成			○	◎	◎		市全域での展開
○地域の魅力を発信するガイド人材の育成とガイド人材活躍の場づくり	人材の確保・育成			○	◎		○	
○地域での観光プログラム構築・運営を担うコーディネーターの育成、起業・創業の支援	人材の育成	起業・創業支援		◎	◎		○	
○糸満市観光協会の体制強化（幅広い分野からの参画促進、民間事業者の動きやすい環境づくり等）	幅広い分野からの参画促進・実行部隊組織		持続的推進体制の構築	◎	◎			



施策⑮ 観光地域としての空間形成

市内には、沖縄らしい風景、漁港を中心とした海人のまちの独特な風景、魅力的な農地景観や自然景観が多く残ります。一方、管理されていない景観や、施設の演出を改善する必要があることから、これら魅力的な景観を保全・活用し、必要に応じて改善することで、観光地域としての魅力を創出します。

具体的な取組	ロードマップ			実施主体				展開するゾーン
	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	
○地域の美化緑化活動の推進と活動を魅せるための方策検討（もてなしの空間演出の推進）	地域の活動検討・推進			○	○		◎	市全域での展開
○市内各地区での糸満らしい雰囲気づくりの推進（風景づくり計画に基づく地域の生活空間の魅力向上とその発信）	拠点・幹線道路沿道での空間づくり	各集落での空間づくり	空間づくりの持続推進	◎	○		○	
○自然環境・景観（海・川・森）の保全推進	環境・景観保全の検討	環境・景観保全の推進	環境・景観保全の制度構築	◎	○		○	

